

科目名称:	キャリアデザイン演習Ⅱ	
担当者名:	岡野 絹枝、 藤元 宏一、 矢澤建明、 若月博延、 坂上 牧子、 丹羽篤志	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
<p>1年次の「基礎教養Ⅰ」「キャリアデザイン演習Ⅰ」を引き継ぎ、実践的な学修を行います。前半は、就職試験対策を行い、採用試験に臨むための直接的な支援をして学生の積極的行動を促します。後半は、将来のキャリアデザインを考える機会として、企業の経営管理者からは職業とライフプラン、専門家からは職業生活における危機管理について学びます。また、自主的に学ぶ方法や手順を修得するために、アクティブラーニング総合演習にも取り組み、社会人基礎力を含めた就業力と地域に関する理解度の向上を図ります。最後に、1年次に自己評価した4スキルの自己評価を再度行い、自己成長度を把握します。基礎教養同様に、体育祭等の課外行事で他者と協力することも積極的に奨めます。</p>		
授業の達成目標・到達目標		
<p>1年次前期から1年半にわたる「基礎教養Ⅰ」「キャリアデザイン演習Ⅰ・Ⅱ」によって、自己理解、職業理解、就職活動から実際の企業で役立つ社会人基礎力までを、アクティブラーニングの手法を取り入れながら、系統立てて修得することが目標です。さらに、この「キャリアデザイン演習Ⅱ」では、将来のライフプランを見据えたキャリアデザイン力も修得できるようにしていきます。</p>		

ビジネス実務学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、ビジネス社会で求められる基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。	○
DP(2)	医療事務や観光業を含むビジネスの専門知識や技能を身につけ、各種資格を取得し、ビジネスワーカーとして他者と協調・協働することのできる実践力を身につけている。	
DP(3)	多様なビジネス社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(4)	学生一人ひとりが、ゼミナールを通して、ビジネス現場における様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力を身につけている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP(1)			80	20	100
ビジネスDP(2)					0
ビジネスDP(3)					0
ビジネスDP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容1》	《経験年数1》
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
学んだこと (レポート・課題評価)	自分の意見や感想が3つ以上具体的に述べられており、読み手がなるほどと思える内容が含まれている。	自分の意見や感想が3つ以上述べられている。	自分の意見や感想が1つ～2つ述べられている。	自分の意見や感想がほとんど述べられていないか、分かりにくい。
学んだことの応用 (レポート・課題評価)	学んだことを今後どのように活かしていきたいかが、2つ以上具体的に述べられている。	学んだことを今後どのように活かしていきたいかが、2つ以上述べられている。	学んだことを今後どのように活かしていきたいかが、1つ述べられている。	学んだことを今後どのように活かしていきたいかが、全く述べられていないか、分かりにくい。
誤字・脱字、文体の統一 (レポート・課題評価)	全体で誤字・脱字がなく、文体が統一されている。	全体で誤字・脱字や文体の不統一が1～2箇所ある。	全体で誤字・脱字や文体の不統一が3箇所以上ある。	ぞんざいな書き方で、読みにくい文字を書いている。
授業への積極的関与	授業規律を守り、かつグループワークでは積極性がある。	授業規律を守っているが、グループワークでは積極性に乏しい。	グループワークでは積極性があるが、授業規律を守らない時がある。	グループワークの和を乱し、授業規律も守らないことがある。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 就職活動対策(7):「就職活動の実際～実践編①」	「就活集中ガイダンス」で学んだことをまとめておく。	10分
第2回 就職活動対策(8):「就職活動の実際～実践編②」	前回学んだ実践編①をまとめておく。	20分
第3回 就職活動対策(総括):パネルディスカッション「中小企業の魅力」	「実践編①②」で学んだことをまとめて、パネルディスカッションの質問に活かす。	20分
第4回 キャリア形成講座(1):「キャリアデザインを学ぶ①～キャリアをデザインする」	1年次で学んだ「キャリアデザイン」の基本についての知識をまとめておく。	20分
第5回 キャリア形成講座(2):「キャリアデザインを学ぶ②～働き方を考える」	自分の働き方への展望について、考え方をまとめておく。	20分
第6回 アクティブラーニング(1):「地域を知るプロジェクト①」全体講話(企業と地域)	白山市について、事前に調べておく。	30分
第7回 アクティブラーニング(2):「地域を知るプロジェクト②」出講3社による企業別講話(1回目)	次回講話担当企業についてWeb等で調べておく。	30分
第8回 アクティブラーニング(3):「地域を知るプロジェクト③」出講3社による企業別講話(2回目)	次回講話担当企業についてWeb等で調べておく。	30分
第9回 アクティブラーニング(4):「地域を知るプロジェクト④」グループ討議、発表準備	第7回・8回の内容を確認し意見をまとめておく。発表に必要な資料を準備しておく。	60分
第10回 アクティブラーニング(5):「地域を知るプロジェクト⑤」発表準備・リハーサル	発表に使用するスライドのデータをまとめておく。発表練習を複数回行う。	60分
第11回 アクティブラーニング(6):「地域を知るプロジェクト⑥」企業を招いての発表会	白山商工会議所及び出講企業を招いての発表会を実施。積極的な発表に努める。	30分
第12回 キャリア形成講座(3):講演「職業キャリアとライフプラン」企業経営者	講演担当講師の企業について、Web等で調べておく。	20分
第13回 キャリア形成講座(4):講演「ライフプランとマネープラン」専門講師	今まで学んだキャリアと経済的自立について自分の考えをまとめておく。	20分
第14回 キャリア形成講座(5):講演「ライフプランにおける危機管理」専門講師(弁護士)	日常生活におけるリスクについてどのようなものがあるか調べておく。	20分
第15回 セルフアセスメント(総括):「基本スキルの再評価・検証」「キャリアデザイン総括」	1年次に自己評価した4スキル項目について評価内容を確認しておく。	20分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記しましたが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要です。
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになります。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりです。
レポート・課題80%、授業への積極的関与20%で評価します。

課題に対するフィードバック

授業内で提出したレポートについて、評価し返却します。

教科書・参考書

必要な資料等はその都度配付します。「キャリアデザイン演習Ⅰ」で用いた青ファイルを継続使用します。